

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0360

(注)本稿は2015年11月3日から10日まで4回に分けて「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.11.12

前田 高行

原油価格暴落が直撃、売上、利益は年同期比で大幅減：五大国際石油企業2015年7-9月期決算速報

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 五社の7-9月期業績比較	
(1)売上高	2
(2)利益	3
(3)売上高利益率	3
(4)原油・ガス生産量	4
(5)設備投資	4
2. 五社の前年同期との業績比較	
(1) ExxonMobil	4
(2) Shell	5
(3) BP	5
(4) Total	5
(5) Chevron	5

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の7-9月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益、売上高利益率、石油・天然ガス合計生産量及び設備投資の五項目について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の前年同期との増減を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-42-billion-third-quarter-2015>

Shell:

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2015/third-quarter-2015-results-announcement.html>

BP:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/third-quarter-2015-results.html>

Total:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/third-quarter-and-first-nine-months-2015-results>

Chevron:

http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/10302015_chevronreportsthirdquarternetincomeof20billion.news

なお前期(4-7月期)及び2008年から2014年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

前期: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0351OilMajors2015-2ndQtr.pdf>

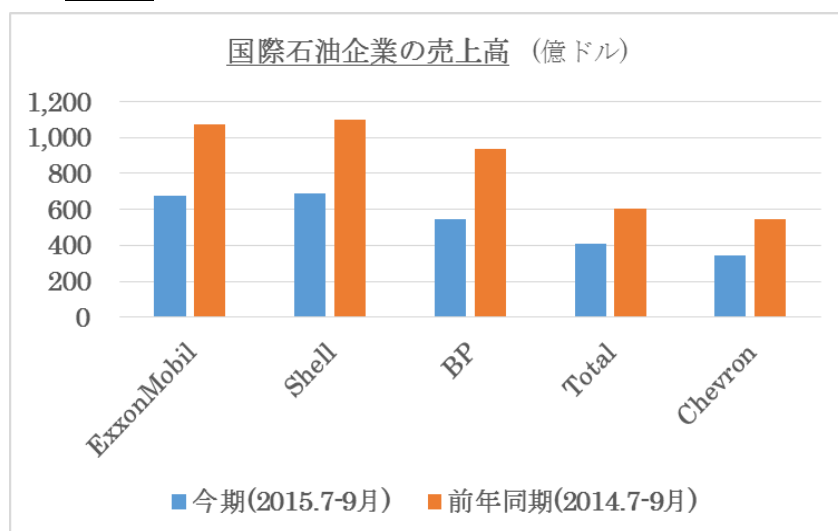
2008-14年通年: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0337OilMajors2014.pdf>

1. 五社の7-9月期業績比較(末尾表 1-D-4-22 参照)

五社を横並びで比較すると売上高では Shell がトップである。しかし利益、売上高利益率および生産量の3部門では ExxonMobil がトップであり、Shell は利益面でただ一社大幅な欠損を出している。設備投資では Chevron が ExxonMobil を上回っている。

(売り上げは軒並み3~4割減!)

(1) 売上高

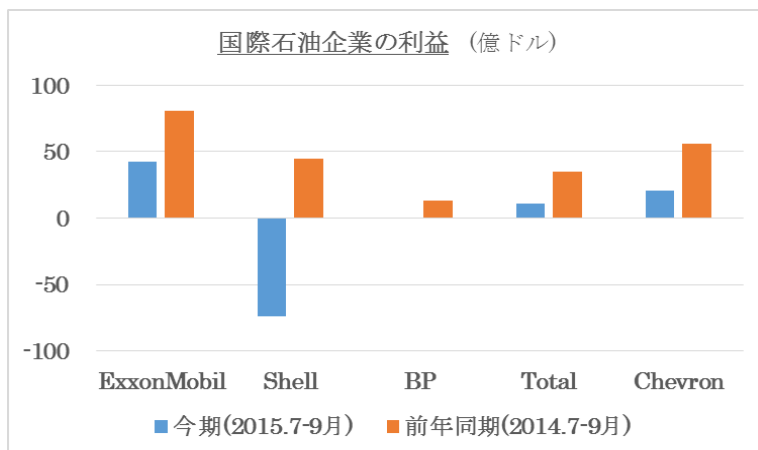


2015年7-9月の売上高は5社ともに前年同期に比べ30乃至40%の大幅な減少であった。これは言うまでもなく原油価格が暴落したためである。因みに北海 Brent 原油で見ると、昨年第3四半期はバレル当たり平均102ドルであったものが、今年は50ドル前後と半値以下

になっている。原油価格の下落がそのまま各社の売上高減少に反映されたと言えよう。

この結果、ExxonMobil の売上高は673億ドル(前期比-37%)、Shell692億ドル(同-37%)、BP 547億ドル(同-42%)、Total 406億ドル(同-33%)、Chevron 343億ドル(同-37%)であった。

(2)利益



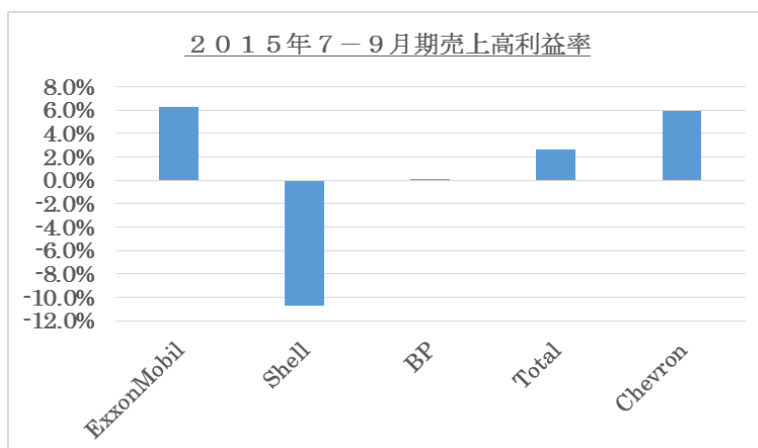
ExxonMobil の期間利益は42億ドル、前年同期(81億ドル)から半減している。ExxonMobil 以外の4社の利益はさらに悪くChevronは64%減の20億ドル、Total も7割減の11億ドルにとどまっている。さらに悪いのが BP で、同社の利益額は4,600万ドル、前年同期の13億ドルの30分の1である。そして5社のうち Shell は昨年同期の利益4

5億ドルから一転して今期は74億ドルと言う大幅な欠損を計上している。BG の買収が当面の財務状況を悪化させており、アラスカ、カナダオイルサンドなどの開発事業を中断し、従業員の7%をリストラするなど¹経営の先行きに赤信号がともっている。また BP は2010年のメキシコ湾原油流出事故の賠償問題が現在も糸を引いており前期の欠損58億ドルに続き今期も水面すれすれの利益水準にとどまっている。

国際石油企業の利益構造はこれまで利益の大半を原油・天然ガスの生産(上流部門)で稼ぎ、精製、石油化学など(下流部門)の低収益を補うという構図であったが、昨年後半以降の原油価格の大幅な下落により収益構造が様変わりしている。即ち上流部門の利益が急減する一方、精製、石油化学部門は原料の原油・天然ガス価格が急落したため利益の出る体質に変化したのである。

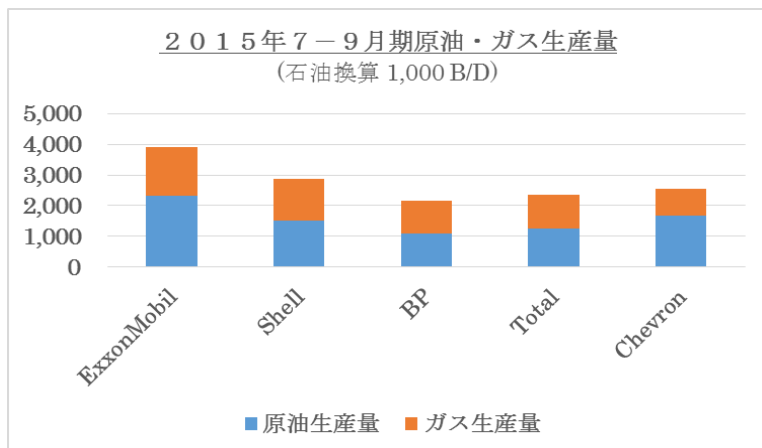
因みに Chevron の場合、今期の上流部門の利益は6千万ドルに対し下流部門のそれは22億ドルと圧倒的に下流部門の利益が大きい。ExxonMobilも上流・下流部門の利益はそれぞれ14億ドル、33億ドルであり、BP、Total も同様の傾向である。Shell の場合は上流部門は4億ドルの赤字で、下流部門は26億ドルの黒字である。

(3)売上高利益率



売上高利益率は ExxonMobil が6.3%と最も高く、Chevron が5.9%で続いている。Total は Chevron の2分の1の2.7%にとどまり、BPの利益率は0.1%である。大幅な赤字決算となった Shell の売上高利益率はマイナス11%である。

(4) 原油・ガス生産量



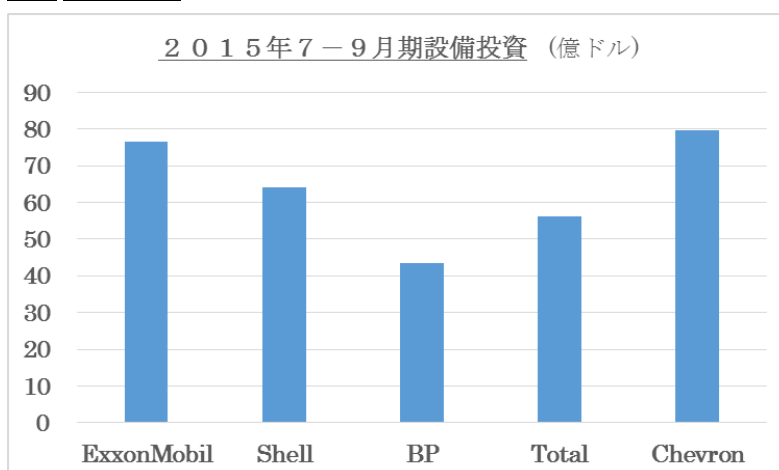
今年7-9月の原油生産量はExxonMobilが平均日産量233万バレル(以下 B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社は Chevron 168万 B/D、Shell 153万 B/D、Total 124万 B/D、BP 111万 B/D で、BP および Total は ExxonMobil の半分前後にとどまっている。ExxonMobil は世界各地で万遍なく原油生産をおこなっており

他社を圧倒している。米国内を地盤とする Chevron はシェールオイルの増産で Shell、Total、BP をしのぐ生産量を上げている。

天然ガスの生産量も ExxonMobil が最も多く日産95億立方フィート(以下 cfd)であり、これに次ぐのが Shell の78億cfdである。残る3社は上位2社よりかなり少なく、Total 及び BP は各60億cfdで最も少ない Chevron は52億cfdで ExxonMobil のほぼ2分の1である。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量(B/D)では ExxonMobil は392万 B/D で他の4社はいずれも200万 B/D 台にとどまっている。4社の生産量はそれぞれ Shell288万 B/D、Chevron254万 B/D、Total234万 B/D、BP215万 B/D であった。

(5) 設備投資



2015年7-9月期の各社の設備投資額は Chevron が最も多い80億ドルであり、ExxonMobil が77億ドルでこれに続いている。第3位の Shell の投資額は64億ドルである。また Total は56億ドル、BPは最も少ない44億ドルにとどまっている。

2. 五社の前年同期との業績比較(末尾表 1-D-4-22 参照)

(1) ExxonMobil

ExxonMobil の2015年7-9月期の売上高は673億ドルであり、前年同期の1,071億ドルに比べ37%の減収であった。利益も同様に大幅に落ち込み前年同期を48%下回る42億ドルにとどまった。利益の落ち込み幅が売上よりも大きかったため、同社の売上高利益率は6.3%となり前年

同期の7.5%を下回った。

原油の生産量は前年同期を12%上回る233万 B/D であったが、天然ガスは前年同期を10%下回る日産95億立方フィート(以下 cfd)であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で392万 B/D となり、前年同期の383万 B/D を2%上回っている。また7-9月期の設備投資は77億ドルであり、前年同期の98億ドルに比べ22%減少している。

(2) Shell

Shell の2015年7-9月期の売上高は692億ドルであり、前年同期の1,098億ドルに比べ37%の減収であった。Shell は今期▲74億ドルと大幅な欠損を計上しており、前年同期の45億ドルの黒字から一転している。この結果同社の売上高利益率は前期のプラス4.1%に対して今期は▲11%であった。

原油の生産量は前年同期を6.9%上回る153万 B/D であり、天然ガスは前年同期とほぼ同水準の78億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で288万 B/D となり、前年同期の279万 B/D を3.2%上回っている。また7-9月期の設備投資は64億ドルであり、前年同期の85億ドルに比べ24%減少している。

(3) BP

BP の2015年7-9月期の売上高は547億ドルであり、前年同期の939億ドルに比べ42%の大幅な減収であった。利益の落ち込みはさらに激しく前期13億ドルの利益に対し、今期は5千万ドルにとどまっている。この結果同社の売上高利益率はわずか0.1%で前年同期の1.4%よりさらに悪化している。

原油の生産量は前年同期とほぼ同じ111万 B/D であり、天然ガスも同じく前年同様の60億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で215万 B/D である。また7-9月期の設備投資は44億ドルであり、前年同期の53億ドルに比べ17%減少している。

(4) Total

Total の2015年7-9月期の売上高は406億ドルであり、前年同期の604億ドルに比べ33%の減収であった。利益は11億ドルで前年同期(35億ドル)の69%であり売り上げの減少以上に悪化している。この結果売上高利益率は2.7%となり、前年同期の5.7%より大きく低下している。

原油の生産量は前年同期を19%上回る124万 B/D であったが、天然ガスは前年同期横ばいの60億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で234万 B/D となり、前年同期の212万 B/D を10%上回っている。また7-9月期の設備投資は56億ドルであり、前年同期の57億ドルとほぼ同じである。

(5) Chevron

Chevron の2015年7-9月期の売上高は343億ドルであり、前年同期の547億ドルに比べ37%の減収であった。利益は売り上げ以上に落ち込み前年同期の56億ドルから今期は20億ドルにとどまった。この結果、同社の売上高利益率は5.9%となり前年同期(10.2%)を大幅に下回った。

原油の生産量は前年同期をわずかに下回る168万B/Dであり天然ガスは前年同期並みの52億cfcdであった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で254万B/Dとなり、前年同期の257万B/Dをわずかに下回っている。また7-9月期の設備投資は80億ドルであり、前年同期の94億ドルに比べ15%減少している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2015年7-9月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2015年7-9月	67,344	69,184	54,730	40,580	34,315
	前年同期	107,130	109,825	93,904	60,363	54,679
	増減(%)	-37.1%	-37.0%	-41.7%	-32.8%	-37.2%
利益(百万ドル)	2015年7-9月	4,240	-7,416	46	1,079	2,037
	前年同期	8,070	4,463	1,290	3,463	5,593
	増減(%)	-47.5%	-266.2%	-96.4%	-68.8%	-63.6%
売上高利益率(%)	2015年7-9月	6.3%	-10.7%	0.1%	2.7%	5.9%
	前年同期	7.5%	4.1%	1.4%	5.7%	10.2%
石油生産量 (1,000B/D)	2015年7-9月	2,331	1,528	1,106	1,241	1,678
	前年同期	2,065	1,429	1,106	1,043	1,699
	増減(%)	12.9%	6.9%	0.0%	19.0%	-1.2%
天然ガス生産量 (100万 cfd)	2015年7-9月	9,524	7,837	6,038	6,003	5,165
	前年同期	10,595	7,892	6,038	5,902	5,213
	増減(%)	-10.1%	-0.7%	0.0%	1.7%	-0.9%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2015年7-9月	3,918	2,880	2,147	2,342	2,539
	前年同期	3,831	2,790	2,147	2,122	2,568
	増減(%)	2.3%	3.2%	0.0%	10.4%	-1.1%
設備投資(百万ドル)	2015年7-9月	7,670	6,412	4,357	5,630	7,965
	前年同期	9,837	8,472	5,256	5,740	9,410
	増減(%)	-22.0%	-24.3%	-17.1%	-1.9%	-15.4%

¹ 2015/9/15 日本経済新聞「シェル、のしかかる誤算」記事